

今週のモーニングセミナー報告

令和3年11月10日（水）の講話 <第871回>

テーマ：いつでもどこでも勉強

講師：（一社）倫理研究所 法人レクチャラー 山縣俊二 様

（富田様）この一年間は決断の年とお話。贈答品店の2人の社員さんがやめられて、お2人の将来を考えて引き留めずに自分1人でやっという決断。富田さんがこの1年で1回りも2回りも大きくなったように感じます。決める、捨てるを明確にそして縁ある人を大切にととても良いスピーチでした。また、とても大事な事だと思いました。ありがとうございました。

（山縣様）岡山の方ですね。家族が岡山に住んでいますので、言葉の端々から姪の顔がうかびました。お仕事が仏壇の修復業とは初めて知った恥業です。様々な道を歩まれて今の仕事になり、これからの未来もすべて過去につながってるとのお話には、私は親との事には思いをはせますが、その又親と連綿と続く先祖は漠然と先祖とだけ考えていた自分に気がつきました。そして、人が人のしもべになるときは、おのずからその生活を豊かにし、その精神を気高くするとお言葉に頭が下がります。自分が高齢になるだけで、いつの間にか若い人、子供達、孫達を見下ろしていたように思います。今日からは人のしもべとなります。ありがとうございました。

担当者：比嘉笑子

お仏壇の修復をされていらっしゃる山縣様の「人となり」を感じました。「優しい心」「丁寧に」「思いを込めて」お仏壇に手を合わせる事がとても素晴らしいことだと思います。私にとってもそれは欠かせない日常になっています。

修復はやったことがないので是非やりたいと思わせて頂くきっかけになりました。

ご縁により入会され倫理指導を受け実践され無我夢中でやってこられて、達成した時、これは御先祖様への恩返しだと感じている。「正しさよりも、まず明るさ」この言葉は元気になれます。ありがとうございました。

（富田様）

声にハリがあり、はつらつとして爽快なスピーチでした。「苦難福門」昨年社員の急な退職によりお店を一人でやるようになって、人への感謝を今まで以上に感じて頑張っている姿はいつも側で見ていて、とても頼もしく感じています。応援しています。

担当者：堀口ちづ代

（富田奈和代 幹事）今年も決断の年。昨年二人の社員が辞めました。一人で仕事をするように、在庫処分セール、新店舗準備、手伝ってくれた人達、本当にありがたく思いました。一人では生きていけない、誰かに助けをもらって生きてきた。今週の倫理・1253号「決める」とは「捨てる」ということ。大切なことを明確にすること。応援したくなるスピーチでした。

（山縣俊二 レクチャラー）昨夜の経営者の集いに続いて、那須方面長から感謝の実践として元の職場の人に御礼に伺う実践。育ててくれた元の職場（職元）と繋がる。大阪からの帰宅途中、父親のことを思い浮かべていた。幼い時路面電車にはねられ片足を失い。義足を付けて生活していた関係上、温泉場の大浴場へは入ったこと無かった。弟と父を支えながら一緒に大浴場に入った。そのシーンを脳裏に浮かぶようで、父親や祖父へ心を寄せて生きている姿に感動する。

担当者：赤山 芳隆

父親は小学生の時、電車でひかれ足を切断する大怪我がありました。そんな大怪我があったが、仕事もして結婚して二人の子育てしてくれたことに感謝していますという親への感謝の気持ちが伝わってくる良い講話でした。

また懇親会も楽しく、正しさより明るさという言葉は私も好きになりました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは11月17日（水）朝6:00~7:00 南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「やる気！元気！三木！で会長3年目」と題しまして香川県高松三木倫理法人会 会長 三野聡 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 26 社 26 名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp